

実習テーマ	第一原理計算による超高速非線形光物性研究
実習場所	関西光科学研究所 光量子科学研究部超高速光物性研究グループ(京都・木津)
所属・学年	東京大学大学院 工学系研究科 修士1年
実習期間	2019年8月8日 ~ 9月6日

QST サマースクールに参加しようと思ったのはなぜですか？

大学の演習や研究で第一原理計算のコードを動かしたことはありましたが、書いたことはなかったので参加を決めました。

どんな実習をしましたか？

レーザー加工のシミュレーション用に新しくコード開発をはじめるということで、その立ち上げに参加しました。密度汎関数理論のコードを実装しなかったのがなかったので、非常に良い機会になりました。受入研究者の方には、たくさん質問をしましたが、いつでも快く教えてくださいました。私は理論系ですが、実験屋さんの多いグループだったので、会話の内容も新鮮でした。

一番印象に残ったことは何ですか？

ある日帰ろうとしたら、研究棟の目の前に野生の鹿がポツンと佇んでいました。奈良公園の鹿とは違って、あまり人馴れしていない感じでした。(近寄ったら逃げられた)

●代表的な1日

9:30	居室に到着、お茶を淹れるなどする(共用のコーヒーもある)
10:00~12:00	プログラムを書く
12:00~13:00	食堂でグループのメンバーと昼食(弁当を持参していたので、持ち込みました) 吹き抜けスペースのソファ(座りごち良い)でくつろぐ
13:00~17:30	グループの実験室見学 プログラムを書く、息抜きに近所のスーパーまで散歩
18:00	帰宅